

# 第5章 歴史ストーリーと関連文化財群

第3章及び第4章にて整理した本市の歴史文化の概要を踏まえ、関連の深い歴史文化資源を一体的に捉えた「関連文化財群」として設定します。

## 1 関連文化財群の定義と目的

関連文化財群とは、「地域の多種多様な文化財を、その指定や未指定にかかわらず、歴史文化の特徴に基づくテーマやストーリーに沿って一定のまとまりとして捉えたもの」です。複数の文化財を関連性に基づいて一体的に整理し、保存活用することにより、その魅力を高めるとともに、本市の歴史文化や文化財の価値を分かりやすく市民に伝えることを目的としています。

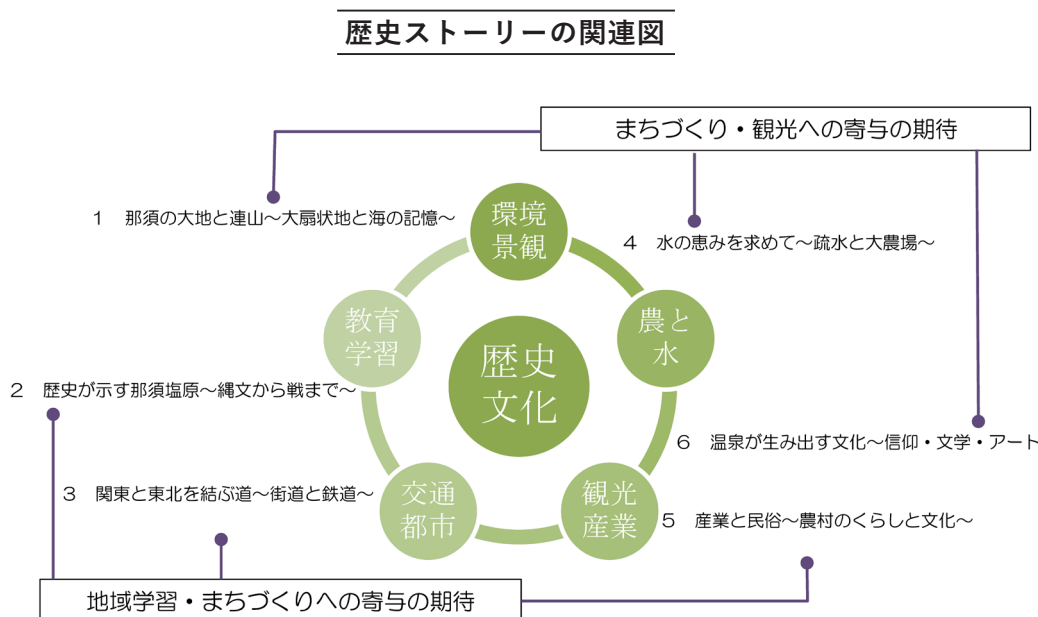
関連文化財群の設定において注意した点は、次のとおりです。

- 現在の本市の魅力につながるものであること
- 対象となる文化財が歴史的関連性を持ち、その内容や価値が明らかなものであること
- 対象となる文化財に共通する保存・活用のテーマが見出せること

## 2 ストーリーの作成

文化財を通じて、本市の歴史的な魅力や特色を分かりやすく伝えるため、関連文化財群を総括する6つの歴史ストーリー（物語）をまとめるとともに、6つの歴史ストーリーに関連して、指定文化財などを軸にサブストーリーを構成しました。

現在は指定していない文化財であっても、ストーリーに関連付けることによって文化財の価値や魅力が一層見出せるものとなり、さらに、保護・継承を図りつつ観光や地域活性化などのまちづくりに生かせるものと期待されます。



## 1 那須の大地と連山～大扇状地と海の記憶～

1. 日本有数の大扇状地
2. 蛇尾川～10kmに及ぶ水無川～
3. 扇中央部と扇端部の狭間の湧水
4. 豊富な化石～海の記憶とかつてあった塩原湖～
5. 大黒岩化石層群～塩原動物群～
6. 連山を刻む溪谷と清流
7. 那須岳と高原山

## 2 歴史が示す那須塩原～縄文から戦まで

1. 槻沢遺跡と井口遺跡
2. 源頼朝による盛大な那須野巻狩
3. 郡界の攻防～中世の城館～
4. 各藩・幕府領が入り乱れた江戸期の支配者
5. 那須塩原地区と戊辰戦争
6. 特攻隊基地にもなった陸軍那須野飛行場

## 3 関東と東北を結ぶ道～街道と鉄道～

1. 奥州街道と鍋掛・越堀
2. 物資の輸送に利用された原街道（原方道）
3. 会津中街道～険しい山越えの道～
4. 塩原道と関谷宿
5. 新陸羽街道と塩原新道～道路網の整備～
6. 近代那須地区の歴史を大きく変えた東北本線
7. 那須人車軌道と塩原軌道（塩原電車）
8. 西那須野と大田原・八溝山地をつないだ東野鉄道

## 4 水の恵みを求めて～疏水と大農場～

1. 旧村の用水網と幕府の新田開発事業
2. 日本三大疏水の一つ那須疏水  
～大農場を潤す水路～
3. 大農場による開拓
4. 開拓の労苦を語る「石塚」
5. 目をみはる大農場区域
6. 華族農場の果たした役割
7. 華族の別邸

## 5 産業と民俗～農村のくらしと文化～

1. 那須野が原の農業～畑作・稲作～
2. 那須野が原の畜産業～馬産・養蚕～
3. 本州一の酪農地域  
～明治の大農場から戦後開拓へ～
4. 集落の特徴～日本有数の列状集落と「ヤウラ」～
5. 馬頭観音碑～圧倒する石像物～
6. 地域に伝わる数多い民俗芸能

## 6 温泉が生み出す文化～信仰・文学・アート～

1. 1200年の歴史を有する塩原温泉
2. 板室温泉と三斗小屋温泉
3. 山岳信仰～白湯山・黒滝山・嶽山～
4. 温泉神社・湯泉神社
5. 温泉と芸術～文豪と美術家～